

フラッセル日本人学校補習校 学校だより No.4



ベゴニア

～「わかった」「できた」「来てよかった」

の笑顔あふれる補習校～



日本文化もたくさん体験できます

2024(令和6)年4月27日

文責 校長 佐藤 博

4月27日に来校して下さった方はすぐに気づいたと思いますが、今週から大きな鯉のぼりが、学校の玄関ホールで悠々と泳いでいます。(とはいえ室内ですので風になびかず干しているような状態ですが、そこはお許してください)。また、同じホールには全日のPTAの方が飾ってくれた五月人形が・・・ここ補習校の学校教育目標のひとつに「日本人としての心や考え方に触れ」というものがありますが、このような展示物もその一つ。鯉のぼりや五月人形に込められた親の思いなども、今後集会などを使って子どもたちに知らせていこうと考えています。またベルギーではなかなか鯉のぼりなどを見る場所もないようで、たくさんの保護者の方が写真を撮られていたようでした。ほんの少しですが、日本から遠く離れたこの地で日本文化を味わってもらえればと思います。



授業参観、ありがとうございました！

4時間目の授業参観、たくさんの保護者の皆さまが参観してくださいました。ありがとうございました。

特に1年生は初めての授業参観、まだこの学校に入学して4日目の授業、でもこのわずかな期間に、できるようになったことがたくさん増えました。先週までようやく読めていたひらがなが、今週にはもう書けるようになる、なんてことはたくさんあります。本当に素晴らしい成長ですね。きっとお家でもしっかり努力しているのだと思います。毎週、このような成長がみられるととても嬉しくなります。

また、中学生は逆に親に見られて緊張していたのか、いつもより落ち着いて取り組んでいたように感じました。ただ学習の内容としては小学部とは違って、どんどん難しくなっていきます。しっかり家庭での課題をしておかないと、なかなか学校での勉強についていけません。親の助けを受けず自分自身で取り組んでいく中学部だからこそ、保護者の皆様には適度な距離は取りながらも、しっかり「見守って」ほしいと思います。よろしくお願いします。

本の貸し出し、5月4日スタートです

いよいよ次回の授業日(5月4日)から図書の貸し出しが始まります。図書とコミックは3冊まで、DVDは2枚までとなっています。また、保護者の貸し出しも、一家庭同じ数まで貸し出しOKです。5月11日が補習校が休みになっていますので、この機会にたくさん日本語の本に触れてほしいと思います。また、本の持ち帰り用にバック等を持ってくるよう、ご協力をお願いします。



補習校学校方針説明会資料②

「補習校学校方針説明会」で使用した資料の2枚目です。ここでは、特に昨年度から何度も言い続けてきた「補習校に来る目的や意味を明確に」という話を中心に行いました。せっかくの休日である土曜日にごに来るわけですから、やはり「なぜここに来るのか」という思いを明確に持ってほしい。そのためにも、常にご家庭でここに来る意味について話をし、目的を持ったうえで登校させるように協力してほしい、といった話をしています。もちろん学校側もその目的が達成できるよう、様々な工夫（チームティーチングの導入、デジタル教科書の活用等）をしながら、子どもたちの健やかな成長のため精一杯努力していきます。保護者の皆さんと心をつなげて、本年度の補習校のスローガンである「笑顔いっぱい夢いっぱい」の補習校を目指していきたくと考えています。

【令和6年度の重点事項】

学校方針説明資料②

「わかった」「できた」「来てよかった」の笑顔あふれる補習校
～みんなが「笑顔いっぱい夢いっぱい」になれる学校を目指して～

- 1 補習校に来る目的や意味を明確に …家庭との協力体制の強化（「共有」の推進）
常に目的をもたせて取り組ませるような指導の工夫
- 2 補修校型チームティーチングの充実 …様々な子どもたちに対応できるよう、学級や学年の枠を超えた取組の工夫や学習支援員、代講講師等と協力した効果的な指導の工夫
- 3 ICTの効果的な活用 …デジタル教科書・電子黒板を活用した授業の実践

1 補習校に来る目的や意味を明確に

- 家庭との「共有」体制を強化し、常に補習校に来る目的や意味について各家庭で話し合ってもらうようにお願いする。
- 学校でも「今日はこのようなことができるようになってよかった」「今日はこれができるようになった」等の振り返りを行うことで、子どもたちが充実感をもてるような指導の工夫を行う。
- 家庭学習の見直しと充実のお願いをし、特に家庭での日本語の会話や教科書の朗読を徹底してもらう。
- 家庭でどのように取り組ませていけばいいのか悩んでいる家庭には、積極的に相談員の活用を進める。

2 「補修校型チームティーチング」の充実

- 学年や学級の枠を超え、全員で補習校の子どもたちを育てていくという意識をもつ。
- 学年合同での授業や、T2の先生（相談員兼学習支援員や代講講師等）を効果的に活用した授業に積極的取り組み、全員が達成感を味わえるような授業の工夫に取り組む。
- 個に応じた支援を工夫し、理解が難しい子だけでなく逆に理解が高い子に対しても、充実感を感じるような指導の改善に取り組む。

3 ICTの効果的な活用

- 国語と算数・数学のデジタル教科書の活用や、電子黒板の効果的な指導法について教職員の研修を深めていく。
- 全日校との協力体制の強化（教材・教具や研修等）に取り組む。
- 学校からの通信は基本的にメールで行う等、ペーパーレス化の継続に取り組む。